

第 34 回『なかま』実践研究集会について

平素は、人権教育の推進並びに本会発展のためご尽力を賜り深謝申し上げます。

1960年に発行された『なかま』は、子どもや地域のくらしに根ざした題材の教材化を進め、同和教育を「事実を通して正しい部落問題認識を培い豊かな人権感覚をはぐくむ教育」へと発展させる力となってきました。2002年には人権教育テキストとして全面改定され、『なかま』は、多くの学校・園・所において様々な授業実践が展開されています。また、県教育委員会からは「なかまとともに小学校1」が2012年度に、「なかまとともに小学校2」が2013年度に、「なかまとともに中学校」が2014年度に、そして「なかまとともに高等学校」が2015年度に発行され、『なかま』とあわせて活用されています。1988年に第1回が開催された本研究集会では、そのような『なかま』教材等を用いた取組を中心に、各校で開発された教材等を活用した授業や人権を基盤に据えた総合学習の展開についての実践交流を進めてきました。

本年も、『なかま』等の教材を活用した授業の報告など、第34回『なかま』実践研究集会として、下記の要領にて開催いたします。

つきましては、公務ご多忙の折りとは存じますが、趣旨をご理解のうえ、多くの会員の派遣及び出張方、ご配慮賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 主 催 奈良県人権教育研究会

2. 期 日 2021年2月5日(金)

3. 会 場 奈良県社会福祉総合センター
 橿原市大久保町 320-11
 (近鉄畷傍御陵前駅 東出口から北東へ250m)
 全体会:分科会場にてビデオ視聴
 分科会:5F研修室 B/C・大会議室
 *駐車場はありません。公共の交通機関で
 お越しいただくか、有料駐車場をご利用
 ください。



4. 研究テーマ

すべての子どもたちに、人権についての認識を深め、部落差別をはじめさまざまな人権の問題を正しく理解・認識させるために、『なかま』を中心とする教材等をどのように位置づけ実践してきたか。

5. 日 程

受付	全体会 [パネルディスカッション] (ビデオ映像)		休憩	分科会
	挨拶 趣旨 説明	テーマ:『民衆の中の鬼』について [パネリスト] 宮川久美さん 中田ひとみさん・県内小学校教員 [コーディネーター] 中村衛さん		

13:00 13:30 13:40

14:50 15:00

16:30

6. 参加費 1,000 円 (資料代)

7. 参加申込 参加を希望される方は、参加申込書を各郡市人教事務局に、1月 日まで申し込んでください。

8. 全体会 パネルディスカッション テーマ：『民衆の中の鬼』について(ビデオ映像)

パネリスト 宮川久美さん(奈良佐保短期大学)
中田ひとみさん(天邪鬼の会)
県内小学校教員

コーディネーター 中村衛さん(奈人教元会長)

鬼から連想される言葉は「悪い・怖い・邪悪」といったものが多く、どちらかといえば排除・退治される存在として扱われてきました。今回、そんな『鬼』をとりあげてパネルディスカッションをおこないます。パネリストには「小学校国語・道徳教材『泣いた赤おに』の主題について再検討」というテーマで論文を書かれた奈良佐保短期大学の宮川久美さん。鬼が大好きで会を作って研究されている天邪鬼の会の中田ひとみさん。さらに、「島ひきおに」などの教材を使って実践された県内の小学校教員。コーディネーターには、奈人教元会長の中村衛さん。それぞれ立場の違う方に集まってもらい『民衆の中の鬼』についてというテーマで公開討論会を行います。皆さまには、その様子を録画した映像を視聴していただきます。

9. 分科会

①「ふたりのゆう」の取り組みからはじめて

上牧町立上牧小学校 山田立基さん

本校の5年生では、他者にどのようにみられているかを意識し過ぎてしまう姿や、異性との関わりや発言で気になる場面が見られました。そこで、性別などの固定観念に左右されずに、自分や他者をひとりの人間として受け入れ、それぞれの個性を尊重できる考えを育成し、また自分らしく生きるという生き方を追求する力をつけてほしいと考えていました。

そのため、『なかまとともに』の教材「ふたりのゆう」から学びをすすめ、セクシュアルマイノリティについて学習しました。その中で出てきた子どもたちの率直な思いや考えなどを、報告します。

②部落問題学習を若い先生方にどう伝えるか？

生駒市立生駒中学校 井上宝さん

私が若い頃、部落問題学習に取り組んで来た時の難しさや悩みについて話をさせていただき、中世へさかのぼって部落史をとらえなおす新しい部落史観の研究が進んだことで、差別についてのとらえ方がどう変わったか？子どもたちにどう伝えるか？史料を見ながら説明していきたいと思います。また、ワークシートの教材を紹介しながら、若い先生方に私の実践を伝えていきたいと思います。

③『なかまとともに』をより活用するために

奈人教資料編集部会 井阪恵子さん・稲山嘉延さん・中西義典さん

資料編集部会は、これまで『なかま』『なかまとともに』を、それぞれの所属において、効果的に活用することに向けて研究を続けてきました。昨年度は部会員の所属において実践された部落問題学習の報告と、『なかまとともに 小学校1・小学校2・中学校』の教材と道徳科の内容項目との関連表をお示しました。今年度はこれを受け、『なかまとともに』のワークシートを作成し、さらに各所属において活用していただけるよう、報告します。

第34回『なかま』実践研究集会 参加申込書

所属 校・園・所

No.	分科会 番号	名 前	No.	分科会 番号	名 前
1			3		
2			4		

各郡市人教事務局まで、1月 日までに申し込んでください